

令和元年度 日本大学文理学部個人研究費 研究実績報告書

所属・資格 総合文化研究室・特任教授

申請者氏名 大塚 友美

研究課題		人口政策の人口経済学的分析
報告の概要	研究目的 および 研究概要	<p>少子高齢化の進展が年金や経済の先行きに及ぼす影響から分かるように、人口変動は社会経済に大きな影響を及ぼす。それゆえ、人口政策の重要性は、かつてないまでに高まっている。にもかかわらず、今日におけるわが国における人口政策の研究は、記述的分析が中心となっており、社会経済と関連付けた実証分析は皆無に近い、といえる。</p> <p>このような状況に鑑み、本研究においては、人口経済学の観点から、日本を含むアジア諸国の人口政策を理論と実証の両面から行なうことにある。</p>
	研究の結果	<p>本研究の成果として、まず、日本に関していえば、人口政策は国民の生活環境と密接に関係しており、これが改善されない限り、人口政策はさほど効果を発揮しない、といった極めて興味深い知見が得られている。</p> <p>また、アジア諸国に関していえば、これら諸国の国民の生活環境等を具体的に把握するため、研究代表例となるカンボジアで現地調査（2020年2月14日から2月21日）を行ったが、国民の生活が社会経済開発により大きく左右される実態を垣間見ることができた。</p> <p>これら研究成果は、今後、論文・学会発表等の形で発表する。</p>
	研究の考察・反省	<p>人口政策を人口経済学的観点から科学的に分析する場合、最も効果的であるのは、人口経済計量モデルを構築し、シミュレーション分析を行う手法である。しかし、本研究はカンボジアを中心に人口・社会経済状況に関する基礎データを分析している段階にあり、人口経済計量モデルを構築するには至っていない。現在、このモデルの構築を目指して研究を進めている。将来的には、この分析手法を用いて、比較研究を行う所存である。</p>
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所 研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。 第71回日本人口学会 「大日本主義時代の人口政策」 2019年6月1日、香川大学	